

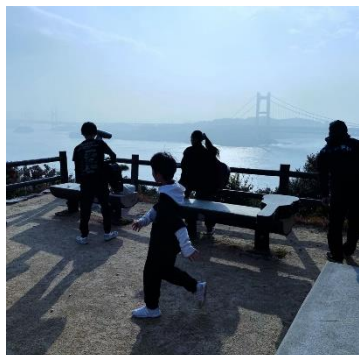
## 2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	ごうどうがいしゃぼっかうえまつふりーすくーる	
団体名	合同会社 BOKKA うえまつフリースクール	
代表者名	横山 圭祐	
連絡先	住所	岡山市南区植松 312 - 6
	TEL	090 - 4146 - 3042
	E-mail	bokka.gia@gmail.com
	URL	<a href="https://www.uematu-hoikuen-freeschool.com/">https://www.uematu-hoikuen-freeschool.com/</a>
設立年（西暦）	2021 年	
助成活動名	子どもの居場所・学びのきっかけ作り	
助成額	800,000 円	
活動内容	目的	岡山県内の不登校児童生徒数は、令和 3 年度に過去最高となっているが、不登校の子どもの居場所として設置されている適応指導教室は、学校復帰が前提であるために過ごすことが難しい子どももいる。また、障害をもつ子どもに関しては、福祉制度を基にした居場所になり得る支援（日中一時支援、放課後等デイサービス）があるが、不登校の子どもを対象にした福祉制度の支援は無い。学校目的を主目的とせず、障害の有無に関わらず、子どもの現状に合わせた安心安全の居場所。学びの機会を確保するための居場所として下記の活動を実施していく。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県内（岡山市・倉敷市・玉野市・総社市・早島町の子どもたちが在籍）の不登校児童生徒らに対する様々な体験活動の機会の提供。児童生徒自ら活動を企画、実施するためのサポート。</li> <li>・安心して他者とコミュニケーションをとり、心身ともに元気になることができるための環境づくり。</li> <li>・自分の興味関心のあることや、進路。どのように生きていきたいかということを見つけていくためのきっかけづくり。</li> <li>・保護者同士の交流の場や、悩みを相談、共有することができる機会の提供。</li> </ul> <p><b>【令和 5 年度実施の体験活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外食活動 6 回（たこやき、ドーナツ、ハンバーガー、ジェラート、鶏料理、回転寿司）</li> <li>・外出活動 9 回（イオン倉敷、サバイバルゲーム、猫カフェ、プール、下津井港、渋川動物園、池田動物園）</li> <li>・宿泊活動 4 回（キャンプ：フォレスト早島・たけべの森、フリースクールでのお泊り会）</li> <li>・調理活動 4 回（クッキー、チーズケーキ、餃子、クリスマスランチ）</li> <li>・保護者の交流活動 10 回（カフェ、スナック、忘年会、フリーマーケット、餅つき、子どもの健康について座談会）</li> <li>・その他 16 回（秋祭り、ハロウィン、竹灯籠作り、ボードゲーム、ボールペン作り、音楽フェスで演奏、マジックショー、オリーブオイルキャンドル・宝石クレヨン作成、ポケモントーナメント戦、お産劇・産道体験（性教育）、サッカー教室、珈琲作り、アートワークショップ）</li> </ul>
	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクールの年間利用者数 2302 名（年間 246 日開所）昨年度 1988 名（年間 242 日開所）</li> <li>・年間で 39 回の体験活動の機会を提供することができている。そのうち、19 回は子ども自らが企画をした活動として。5 回は、保護者が企画して実施すること</li> </ul>

ができており、子ども、保護者が主体的に学び、交流の機会を作り出し、自ら参画することができている。

今後の課題と対応策

フリースクールの利用に関して、岡山県では制度などの公的な支援の仕組みは無いため、運営継続のための財源の確保が課題としてあげられる。また、利用料の負担補助についても現状無いため、保護者に大きな経済的な負担を強いることになっており、利用を諦めたり、回数を制限したりしている家庭もある。その対応策として、日中一時支援という福祉の制度事業を取り入れることで、障害をもつ児童生徒に関しては、家庭の経済的な負担を軽減し、フリースクール事業継続のための運営費用を確保することを見込んでいる。



写真の提出

